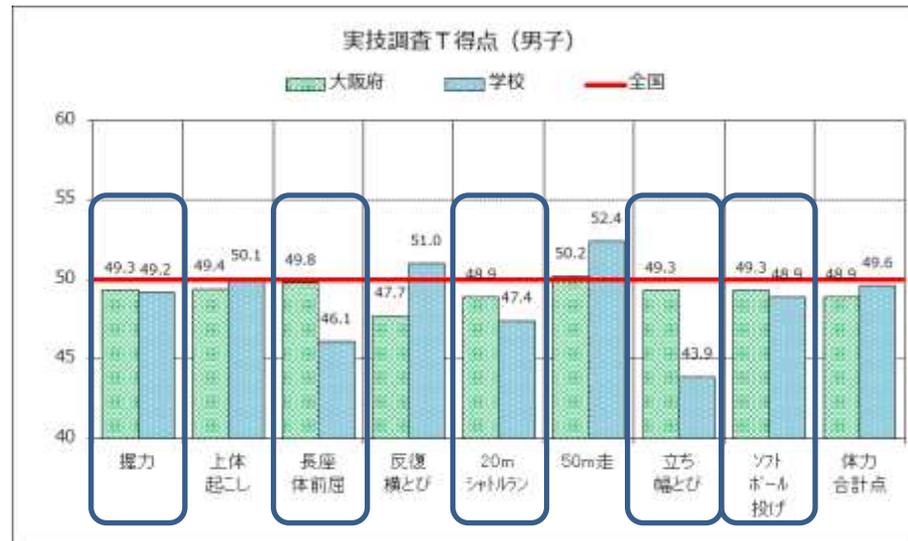


①加賀田小学校実技調査結果 (R5 1学期に実施)

加賀田小学校	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン(回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ(m)
5年男子	15.83	19.08	30.60	41.44	41.36	9.21	136.68	19.63
大阪府	15.84	18.61	33.81	38.65	44.57	9.46	149.48	19.92
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52
5年女子	16.46	19.31	38.31	38.46	40.00	9.07	138.15	12.46
大阪府	15.65	17.47	38.23	36.56	34.15	9.74	141.58	12.51
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22

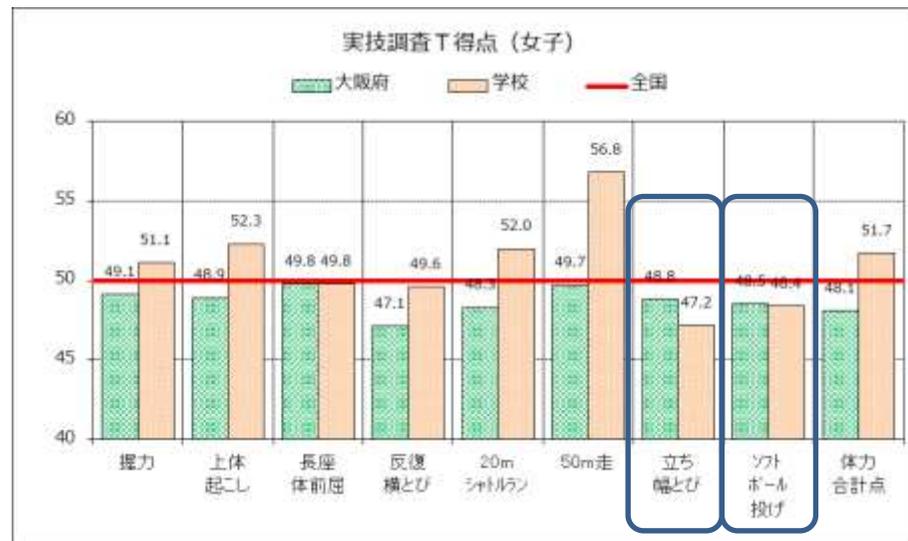
②結果グラフ(全国平均を50としたとき本校との比較)



【全国・大阪府との比較】

男子は、上体起こし・反復横とび・50m走において、全国・大阪府の平均値を上回る結果となりました。しかし、それ以外の種目においては、全国・大阪府の平均値を下回る結果となりました。特に、長座体前屈と立ち幅跳びとに課題がみられました。

女子は、握力・上体起こし・20mシャトルラン・50m走において、全国・大阪府の平均値を上回る結果となりました。女子は、立ち幅跳びとソフトボール投げが全国・大阪府の平均より下回る結果となりました。

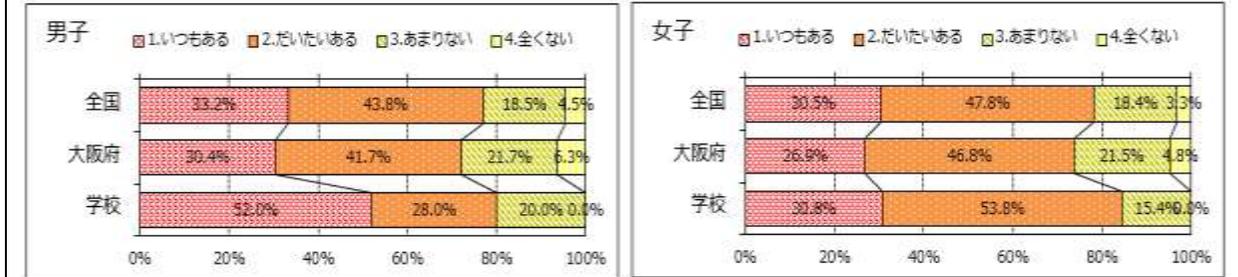


【調査結果より】

調査結果より、立ち幅跳び【瞬発力・敏捷性】とソフトボール投げ【瞬発力・運動のタイミングをとる調整能力(巧緻性)】に課題があることが明らかになりました。体育の授業や遊びなど、教育活動全体を通じて、様々な運動が経験できるよう取り組んでまいります。

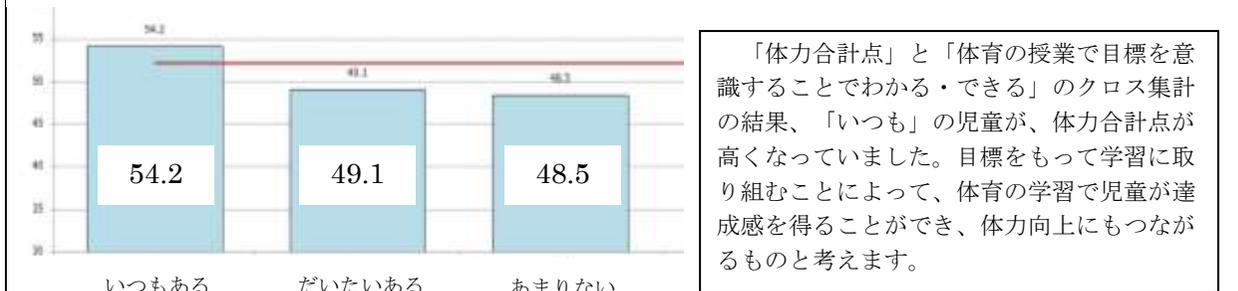
③児童質問紙

体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動があることで、「できたり、わかったり」することがあります。



児童質問紙の結果より、全国・大阪府の結果と比較し、男女ともに、体育の授業の最後にその授業で学習したことを振り返る活動があることで成果が出ると感じている児童が多いことが明らかになりました。今後も、1人1台端末を活用する等、学習後の振り返りの活動を意識して取り入れ、児童一人ひとりが自分のできたことやがんばったことに気づき、次の時間の目標が持てるよう取り組んでまいります。

④【体力合計点】と【体育の授業で目標を意識することで「できる・わかる」】のクロス集計 (本校男子)



「体力合計点」と「体育の授業で目標を意識することでわかる・できる」のクロス集計の結果、「いつも」の児童が、体力合計点が高くなっていました。目標をもって学習に取り組むことによって、体育の学習で児童が達成感を得ることができ、体力向上にもつながるものと考えます。

⑤加賀田小学校の取組み

本校では、体育の学習だけでなく休み時間等を利用して、体力向上のために様々な取組みを行っています。体力・運動能力調査は、全学年で実施しています。その結果をパーソナルデータとして一人一台端末へ入力し、自分の体力変化を可視化し、児童一人ひとりが自分自身の成長や課題に気づくことができるようにしています。また、生涯にわたって運動に親しむ習慣を身につけるために、水泳やランニングといった基礎的な運動や、ICT機器を活用した取組みを大切にしています。夏の水泳学習では、体育の学習時間に加えて泳力が学年の目標に達していない児童に夏季休業期間に特別水泳教室を実施しています。冬の持久走の学習では、体育の授業以外に、長休みにマラソントイムを実施し、自分のペースで走る取組みを実施しています。体育の時間では、一人一台端末を活用し、身体の使い方を動画で見て学んだり、自分自身の身体がどう動いているか動画撮影をして確認したりして、主体的に学習に取り組み、できる喜びや学ぶ楽しさを感じることができるようにしています。加えて、縄跳び台の設置やラダーの活用、PUロケットを利用した投運動など、学習環境の工夫にも取り組んでいます。今回の結果をうけ、課題となる点を意識しながら、今後も児童の体力・運動能力の向上につながる取組みを進めます。

～ 保護者のみなさまへ ～

今回の調査結果をお子さま個人の記録と比較しながら、客観的に見ていただきますようお願いいたします。学校や家庭においてパソコンやタブレット等に触る機会が増えている中ではありますが、屋外で遊び、体を動かす機会や経験を持つことができるよう声かけをお願いします。また、体の柔軟性は怪我を予防するだけでなく、全てのスポーツで必要となってくるものです。家庭でできる簡単なストレッチを行うなど、家族で体力向上に取り組む機会を設けていただきますと幸いです。

